

## 令和4年度第1回 立川市入札等監視委員会審議概要

開催日及び場所	令和4年5月27日(金) 立川市役所 210会議室		
出席委員氏名	鈴木満 委員長、榎本孝芳 委員、小畑徳彦 委員		
審議対象期間	令和3年11月21日～令和4年3月31日		
抽出案件	工事 11件 委託 0件 総件数 11件	(備考)	
うち一般競争入札	工事 7件 委託 0件 総件数 7件		
うち特命随意契約	工事 4件 委託 0件 総件数 4件		
<p>次 第</p> <p>1 委員長あいさつ</p> <p>2 議事</p> <p style="margin-left: 20px;">(1) 審議</p> <p style="margin-left: 40px;">ア 令和3年度工事契約抽出案件について(令和3年11月21日～令和4年3月31日)</p> <p style="margin-left: 20px;">(2) 報 告</p> <p style="margin-left: 40px;">ア 工事契約の推移(平成29年度～令和3年度)について</p> <p style="margin-left: 40px;">イ 令和3年度工事契約の状況について</p> <p style="margin-left: 40px;">ウ 令和3年度変動型最低制限価格(工事)について</p> <p style="margin-left: 40px;">エ 談合に関する情報報告について</p> <p>3 その他</p>			
委員からの意見、質問及びそれに対する回答			
意見・質問	回 答		
<p>1 委員長あいさつ</p> <p>2 議事</p> <p style="margin-left: 20px;">(1) 審議</p> <p style="margin-left: 40px;">ア 令和3年度工事契約抽出案件について (令和3年11月21日から令和4年3月31日まで)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象期間に入札された、総価契約(以下、総価)・一般競争入札(以下、競争)の工事契約について、令和2年度の同一期間との比較結果を説明する。</li> <li>・総価・競争の契約件数は37件で令和2年度と比較して9件増加した。平均参加者数は3.9社で0.2社減少、単純平均落札率は82.40%から82.12%で0.28ポイント減少した。</li> <li>・変動型最低制限価格は全件が算定対象で、算定となった入札は22件で、算定率は59.5%であった。地域要件を市内本店としたものは24件、落札者の所在区分では市内が26件、市内受注率は70.3%であった。くじ引きになった案件は3件、低入札案件(落札率が50%以下)は0件であった。</li> <li>・落札率95%以上の総価・競争分7件について説明</li> </ul>		

<p>* エレベーター工事が3件くじ引きとなっている。くじ引きだと確実に取れるとは限らないことから、談合とは言えないだろう。</p> <p>* 工事内訳書の比較グラフの形が、工事が違って会社ごとに同じである。積算せずに価格ありきで、各社が独自の掛け率をかけて内訳を出しているように見える。</p> <p>・ エレベーター工事としては、小規模だし、立川市の場合、設置事業者が必ず保守を受注できる訳ではないので、価格を下げてまで取ろうとはしていない。切りのいい金額で偶然、一致してしまったと考えられる。</p> <p>(2) 報告</p> <p>ア 工事契約の推移（平成29年度から令和3年度まで）について</p>	<p>する。</p> <p>「栄町4丁目防火貯水槽撤去工事その1」、「新共同調理場整備に伴う立川市立立川第二中学校改修工事（昇降機設備）」、「立川市立第十小学校校舎増築工事（昇降機設備）」、「立川市立第五小学校校舎増築工事（昇降機設備）」、「立川競輪場選手宿舎棟エレベーター改修工事」、「栄町4丁目防火貯水槽撤去工事その1」、「市道舗装工事その2」</p> <p>・ 入札中止・不調対応以外の総価・特命随意契約（以下、特命）4件について説明する。 「立川市立立川第一中学校2階普通教室EHP設置工事」、「立川市清掃工場 破碎機設備補修工事」、「立川市清掃工場 焼却炉整備補修工事」、「立川市清掃工場 公害対策装置点検整備工事」</p> <p>・ 平成29年度から令和3年度までの工事契約の推移について説明する。</p> <p>・ 契約件数と単純平均落札率は、令和2年度に低下し、3年度もそのまま横ばいとなっている。</p> <p>・ 平均参加者数は、令和2年度に少し増加したが、3年度に元に戻り、減少傾向となっている。</p> <p>・ 契約金額は、平成31年度が突出しているが、これは、若葉台小学校の新築工事があったためである。</p>
---	---

イ 令和3年度工事契約の状況について

- ・ 令和3年度の工事契約状況について、2年度との比較を説明する。
- ・ 総価・競争の契約件数は91件で令和2年度と比較して1件減少した。業種では、空調工事が減少し、電気工事が増加した。契約金額では、1,000万円未満の工事が減って、1,000万円以上の工事が増加した。
- ・ 総価・競争の平均参加者数は、4.1社で1.2社減少、単純平均落札率は81.27%から81.00%で0.27ポイント減少した。
- ・ 変動型最低制限価格は、総価・競争では、全件(91件)が算定対象で算定となった入札は55件、算定率は60.4%であった。算定案件の単純平均落札率は74.52%、未算定は90.88%であった。
- ・ 地域別契約件数は、総価・競争では、市内業者が91件中64件で、市内受注率は66%から70%と約4ポイント上昇した。受注者別の平均落札率は市内が80.32%、市外が82.59%で、過去3年間は、市内の方が5ポイントほど高かったが、2ポイント余り低くなった。
- ・ 総価・競争では、令和2年度は1億円以上の工事の参加者数が少なく、落札率も高かったが、3年度は、金額ごとで参加者数や落札率の差は見られなかった。
- ・ 総価・競争で、契約件数が複数あった業種について、落札率の高い順に並べると90%以上は①沈砂池・沈殿池機械設備工事、②エレベーターであった。令和2年度は、①沈砂池・沈殿池機械設備工事、②建築工事、③下水道施設工事であった。

- \* 5年間の推移では、プロポーザルは0、総合評価は平成29年度に1件だけ。プロポーザルや総合評価は原則やらない方針があるのか。
- \* 総合評価方式は、点数のつけ方や配点に恣意性が入る余地があり、出来レースではなかったかという疑念をもたれることがある。プロポーザルも同様。制限的に実施するというのは、むしろ、当委員会の意見に基づいている。

- \* 総合評価については、積極的に実施していない。

\* プロポーザルや総合評価というのは監視のしようがない。こちらは技術的な知識もなく、裏づけ資料も何もないから。

\* 家電や自動車のように出来上がった商品なら価格と品質を総合評価する意味があるが、建設工事はこれからつくる。品質は発注者が指定すべき事項である。

\* 技術提案型の総合評価は問題がある。やるのであれば、長野県のように地域点と工事成績を活用した簡易型にすれば、結果的に地元優遇とか、工事成績のいい人の受注ができるようになる。

ウ 令和3年度変動型最低制限価格（工事）について

エ 談合に関する情報報告について

\* 談合情報対応マニュアルは、国のマニュアルに倣っているようだが、談合情報があった場合に、当事者に事実確認することが問題。聴取後に情報提供されても、公取側からすれば、立件の役にはたたない。

\* 公取の場合、継続的な談合を対象としているので、過去の入札を分析して、談合があるとする資料なら、意味がある。

\* マニュアルについては、今後検討していく必要があるだろう。

3 その他

・ 令和3年度の変動型最低制限価格（工事）について説明する。

・ 単価契約を含む変動型が成立した60件のうち、最低制限価格未満で無効となった事業者のあった案件は4件、発生率は約7%であった。

・ 談合情報と公正入札調査委員会の検討内容について報告する。

\* 市としては、談合情報があった場合、入札や契約が止まってしまうので、早急に白黒つける必要がある。

・ 次回開催は令和4年7月8日（金）午前10時